

**日本機械学会関東支部埼玉ブロック主催
平成 24 年度「夏休みロボット工作教室」実施報告**

埼玉県さいたま市青少年宇宙科学館と合同で、さいたま市、および、その近郊に住む小中学生を対象として、下記の要領で「夏休みロボット工作教室」を開催した。その報告を以下に記す。

実施日時：平成 24 年 8 月 26 日（日）

会場：さいたま市青少年宇宙科学館

1. 本事業の概要

「夏休みロボット工作教室」は、20 年以上前から、日本機械学会関東支部埼玉ブロックの支援を受けつつ、埼玉大学とさいたま市青少年宇宙科学館合同で毎年開催されてきたイベントである。主に、近隣に住む小中学生を対象として、ものづくりの楽しさや機械の仕組みを教えることを目的に実施されてきている。今年も、160 名を超える応募の中から抽選で選ばれた 20 名の小中学生を対象に、ロボットの製作体験学習を行った。以下に、詳細を説明する。

2. 実施内容詳細

今年は、これまでとは異なり日本機械学会の主催する全国イベントであるロボットグランプリで実施されているスカベンジャーロボット競技との連携を念頭に、スカベンジャーロボットキットを使った、ロボット工作教室を行った。参加者は、配布された資料に基づき山崎教育システム株式会社が販売している「スカベンジャーロボットキット（ロボットグランプリ用特別仕様）」を利用して、スカベンジャーロボットの製作を行う。ニッパ、定規、ドライバ等の工具を使いつつ組立てを行い、最終的に、こちらで用意したテスト走行用フィールド内に持込み、テスト走行を行った。

また、工作教室の中では、ロボットグランプリの紹介と、写真等を使いつつロボットがどのような部品から構成されているのか、どのような原理で動作するのかの講義を行った。今年度は、講義の各所に KYT（危険予知トレーニング）を挟みつつ、工具の使用方法等の解説も行った。

当日は、午前 9 時半よりスタートし、昼食、休憩を挟みつつ午後 4 時半に終了した。なお、本教室に使用したスライド、運営にあたってのマニュアル等をまとめてあり、今後、同様のスカベンジャーロボットキットの工作教室の開催を希望する方々に配布する予定である。

以下に、当日の風景写真を掲載しておく。



写真 製作風景



試走会風景

3. 会計報告

日付	収入	支出	項目
H24.7.5	50000		日本機械学会埼玉ブロック支援金
H24.7.27		65908	ロボットスカベンジャー基本セット代金
H24.8.6		2610	ピンポン球(送料込み)
		1575	電池代
小計	50000	70093	

収支	-20093
----	--------

(報告書作成：埼玉大学 琴坂信哉)
以上